

## 令和4年度東京成徳短期大学 卒業証書学位記授与式 学長告辞

卒業生の皆さん、ご卒業おめでとうございます。ご列席の保護者の皆様にも心よりお祝い申し上げます。

最近の報道では、日本の出生数が初めて80万人を割ったということが話題となりました。子どもの数が急激に減るということは、幼稚園や保育園がこれからはあまりいなくなるということでしょうか。いえ、そうではありません。子どもの数が少なくなればむしろその子どもたちに一層しっかりした教育をして育てなければなりません。

そこで皆さんのように幼児教育について本格的に学び、資格を持っている先生がより求められます。以前お話したように幼児教育は、社会の中で大変重要な仕事です。AIが発達しようが、また外国からの働き手が参入しようが皆さんの職場はなくなりません。やりがいのある仕事ですから誇りをもって続けていただきたいと思います。

話は変わりますが、皆さんの学生生活2年間は、コロナウイルスとの戦いでしたね。学生生活、授業や行事も思うようにできず残念だったことでしょう。

しかし、この間のことをマイナスばかりだと思わないで下さい。人間の肉体、筋肉は負荷を与えられて強くなります。同様に精神も困難なことを乗り越えてこそ、たくましくなるのです。皆さんはこうして立派に乗り越えて、卒業できるではありませんか。自信を持って下さい。

そして将来、必ずまたパンデミックが発生すると思われれます。きっと皆さんがまだ生きている時でしょう。その時今回の経験を活かして、その克服にリーダーシップを発揮してください。

最後に皆さんの未来が、幸福で実りのあるものになるよう祈り、これをもって告辞いたします。

令和5年3月12日

東京成徳短期大学学長 木内 秀樹